

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	情報リテラシー I (DB)		TDB103
講義名 (コード)	情報リテラシー I (DB)		TDB103
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	デジタル・ビジネスコース	単位数	2
授業担当者	鈴木祥夫	時間数	28
成績評価教員	鈴木祥夫	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	選択必修
実務者教員特記欄	本授業は関連業界で職業経験ある講師にて実施される。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
目的 (位置づけ)	Pythonによるプログラミング演習を通し、プログラムとはどのようなものか実体験として理解する。
到達目標	初級者：簡単なプログラムならコーディングできるようになる。 中級者：プログラミングコンテストの初級レベルの課題にチャレンジできるようになる。
全体の内容と概要	初級者：四則演算,条件分岐(if,elif,else),繰り返し(for,while),型の理解(文字列,list) 中級者：未経験者部分+Pythonらしい使い方
授業時間外の学修	初級者：授業中に練習した演習課題の提出 中級者：授業中に練習した演習課題の提出およびプログラムコンテストへの参加
履修上の注意事項	Web上の開発環境Google colabatoryを使用して授業を進めていきますので、Webが使用できる環境を準備してください。Windows PCまたはMac PCを用意してください。
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	知識の評価は試験点数だけではなく、授業中に指示する演習課題の提出も加味します。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	講師	授業内容

1	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	1.Pythonとは：STEP1 2.四則演算、変数、代入(数学とプログラムの違い,イコールと代入)：STEP2,3 3.Google Colaboratoryの使い方：プリント
2	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	2.四則演算、変数、代入(数学とプログラムの違い,イコールと代入)の復習：STEP2,4 4.条件分岐(if①)：STEP12
3	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	4.条件分岐(if①)の復習：STEP12 5.条件分岐(if②)：STEP13
4	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	6.1～5までの復習 7.【初級者】1～5までの演習 7.【中級者】プログラミングコンテストの説明
5	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	8.組み込み型文字列①：STEP4 9.組み込み型文字列②：STEP5
6	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	10.組み込み型リスト①：STEP6 11.組み込み型リスト②：STEP7
7	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	12.繰り返しfor文①：STEP14
8	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	13.繰り返しfor文②：STEP15
9	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	14.繰り返しwhile文：STEP16
10	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	15.if,for文,while文を含めた総合演習
11	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	学生の理解度に応じて1～15の授業の進度を調整します。
12	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	学生の理解度に応じて1～15の授業の進度を調整します。
13	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	試験
14	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	試験解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Python[基礎編] ワークブック
参考文献・資料等	Pythonゼロから始めるプログラミング(パワーポイント)
備考	